

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		社会福祉施設整備事業				
事業の概要	事業の概要	<p>岩滝福祉センター・岩滝ふれあいセンターは、ともに地域福祉の中核施設として利用されているが、老朽化が進み各所に不具合が生じており利用者に不便を来しているため、これを早急に整備するものである。</p> <p><岩滝福祉センター> 瓦棒屋根葺替工事、瓦屋根葺替工事</p> <p><岩滝ふれあいセンター> 玄関ホールドア取替工事、空調設備更新工事(機能回復訓練室、玄関ホール)</p>				
	事業期間	平成18年度				
	総事業費	10,438	本年度事業費	10,438	交付金交付額	5,218
事業評価	事業の必要性	施設の老朽化は日々進行しており、これを早急に整備することで、設備の劣化を食い止め施設の長寿命化を図ることができる。				
	事業の有効性	これらの福祉施設を整備することにより、施設利用者・業務従事者ともに快適性を増すことで、施設利用の機運が高まり地域福祉の更なる充実が期待できる。				
	事業の効率性	施設の老朽化は日々進行しており、これを早急に整備することで設備の劣化を食い止め、より大規模な施設整備を回避することができる。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果	施設整備により、施設利用者・業務従事者ともに快適性が増し、施設利用の機運が高まることで、地域福祉の更なる充実が期待できる。			
		3 リーディング・モデル成果				
		4 広域的波及成果				
5 行財政改革に資する成果		日々進行する劣化を整備することで設備の劣化を食い止め、不具合を放置しておいた場合に想定される今後の施設維持関連の出費を抑制できる。				
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。